令和8年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

４月に実施した「令和８年度全国学力・学習状況調査」につきまして、文部科学省から学校にその結果が届き、１学期終わりに、生徒を通じて個人票をお渡ししたところです。本校においては、今回の調査結果をもとに、生徒への学習指導等の改善に役立てるために分析を進めてまいりました。この度、その結果がまとまりましたので、その概要についてお知らせいたします。

質問紙調査（学習意欲や学習習慣、生活環境、学習環境等に関する質問）

肯定的な回答が全国平均を上回っている主な項目

■ 相互承認と学級の心理的安全性（先生・仲間・家庭との信頼関係）

・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか

・人が困っているときは、進んで助けていますか

・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

・学校での悩みや勉強のことについて、親や家族と話しますか

・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

◆生徒たちが身近な人への思いやりや助け合いの気持ちを大切にしながら、人と違う意見を言っても否定されない安心感のある学級集団をつくっていることが分かります。また、教職員やご家族とも良好な信頼関係・対話の習慣が築かれており、こうした安心感と相互承認の土壌が日々の学びを支えています。今後も互いのよさを認め合う活動を継続・充実していきます。

■ 目標設定・振り返りと粘り強い学び（学習規律とメタ認知）

・学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

・休日に２時間以上勉強する生徒の割合や、調査の記述・説明問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合

◆話合いを通して自分の目標を定め、学習の振り返りや工夫を重ねながら粘り強く課題に向き合う姿勢が育っています。特に今回の調査では、国語・数学ともに記述・説明問題を最後まであきらめずに書き切ろうとする意欲が高く見られました。今後も生徒が自ら目標を立て、学びを調整できる授業づくりを進めていきます。

■ ICT による情報収集・プレゼン表現スキル（総合的な学習等の成果）

・あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って

①インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか

②学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか

③文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか

・総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使ってうまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか

◆総合的な学習の時間をはじめ、様々な授業を通して ICT 機器を活用した情報収集や発表資料の作成に取り組んできたことが、生徒の確かな自信と表現スキルにつながっています。今後は身につけたスキルをさらに発揮できるよう、教職員で実践の共有などを行い、活用の場を広げていきます。

肯定的な回答が全国平均を下回っている主な項目

■ メディア利用時間と生活リズム・読書習慣

・普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴などをしますか

⇒「4 時間以上」「3 時間以上、4 時間より少ない」を合わせた長時間利用（3 時間以上）の割合が半数を超えており、全国平均より高い（望ましい利用時間の割合が下回る）結果でした。

・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか／授業時間以外に、普段、読書をしますか

⇒朝の起床時刻の安定や、日常的な読書・図書館利用の頻度において、全国平均を下回る傾向が見られました。

■ 家庭での学習習慣

・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（ICT 機器を勉強のために使う時間を含む）

⇒平日「全くしない」の割合がやや高く、授業時間外に ICT 機器を使って学習する時間（30 分以上）は全国平均を下回りました。

◆肯定的な回答が全国平均を上回っている項目で挙げた通り、「振り返りや目標設定」「休日に 2 時間以上学習する生徒の割合」などでは、全国平均を上回る良好な結果が見られました。一方で、平日の放課後においては、SNS や動画視聴に費やす時間が長くなることで、家庭学習や読書の時間の確保、さらには朝の起床時刻の安定に影響が出ている様子がうかがえます。学校では、家庭学習の具体的な進め方やメディアとの上手な付き合い方について指導を充実させてまいります。ぜひご家庭でも、平日のメディア利用のルールや学習・読書の時間についてお子様と話し合う機会をもっていただければ幸いです。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果の分析と改善の方向 【中学校国語】

本校の概要	課題	改善の方向
【知識及び技能】 □ 言葉の特徴や使い方に関する事項 ・全国平均を上回っている。 □ 情報の扱い方に関する事項 ・全国平均を上回っている。	● 必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること。 ● 文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考に、文脈に即して正しく漢字を書くこと。	○ 話合いの目的や流れを踏まえ、相手の発言の意図や不足している情報を捉えながら、必要に応じて質問したり整理したりする学習活動の充実。 ○ 同訓異字や文脈に応じた語句の使い分けについて、辞書的な意味や用例を確かめながら、文章の中で適切に漢字や語句を用いる学習活動の充実。
【思考・判断・表現力等】 □ 話すこと・聞くこと ・全国平均を上回っている。 □ 書くこと ・全国平均を上回っている。 □ 読むこと ・全国平均を上回っている。	● 語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉え、同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出すこと。 ● 文章を読んで理解したことに基づき、具体的な様子と擬態語の効果を根拠を明確にして記述すること。	○ 文章中の語句について、辞書的な意味と文脈上の意味を比べたり、文章中の言い換え表現や類義的な叙述と結び付けて捉えたりする学習活動の充実。 ○ 表現の工夫や語句の効果について、二つの表現を比較しながら、どのような様子や心情が表されているかを根拠を挙げて説明・記述する学習活動の充実。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果の分析と改善の方向 【中学校数学】

本校の概要	課題	改善の方向
【領域】 □「数と式」 ・全国平均を上回っている。 □「図形」 ・全国平均を上回っている。 □「関数」 ・全国平均を上回っている。 □「データの活用」 ・全国平均を上回っている。	● 反比例の関係を表す表の特徴を捉え、x の値に対応する y の値を求めること。 ● 具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすこと。 ● 日常生活の事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 ● データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明すること。	○ 比例・反比例などの関数関係について、表・式・グラフを相互に関連付け、変化や対応の規則性に着目して値を求める学習活動の充実。 ○ 図形の証明において、結論を導くために必要な根拠や前提となる仮定を問題場面から整理し、見通しをもって証明の構想を立てる活動の充実。 ○ 日常生活や社会の事象を理想化・単純化して関数関係を見いだし、求めた結果の意味や問題解決の過程を筋道立てて説明する活動の充実。 ○ 度数分布多角形や箱ひげ図などを用いて複数の集団のデータの分布の傾向を比較し、代表値や散らばりなどの根拠を明確にして説明する活動の充実。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果の分析と改善の方向 【中学校英語】

課題	改善の方向
● 日常的な話題について話を聞き、出来事の流れや話の概要を的確に捉えること。	○ 日常的な話題について、出来事の順序や話の流れを表す表現に着目して概要を捉えながら聞き取る学習活動の充実。
● 日常的な話題について、自分の置かれた状況や相手が示した条件などから判断して、必要な情報を読み取ること。	○ 条件や状況などの読み取る視点を明確にし、必要な情報を照合・判断しながら的確に読み取る学習活動の充実。
● 社会的な話題に関する短い文章を読み、書き手が最も伝えたいこと（要点）を的確に捉えること。	○ 社会的な話題に関する文章に触れ、段落ごとの展開や中心となる内容を整理しながら、書き手が最も伝えたいこと（要点）を読み取る学習活動の充実。
● 社会的な話題の文章に対する考えとその理由や、日常的な話題について事実や体験・考え・気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。	○ 読んだ内容や自分の体験・思い出、日常の学校生活などについて、事実や自分の考え・気持ち、理由を整理するとともに、表現の幅を広げる語彙力の習得を図りながら、まとまりのある英文で書いて伝え合う活動の充実。